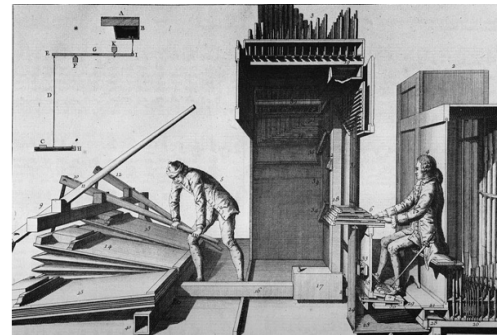


# Les Amis de L'Orgue de Tokorozawa MUSE

今年もあつという間に5月を迎えました。新生活を始めた方々も少し新たな環境に慣れてきた頃でしょうか？私もホールオルガニストとして2年目を迎え、ミューズのお隣、航空公園にも新緑の美しい季節がやって来ました！生命の力を浴びに、そして芸術浴に所沢ミューズへ！

## 🍏6月14日オルガン特別講座 & 7月17日500円コンサート🍏

新年度を迎え、所沢ミューズのオルガンスクールにも初級クラスの10名の新たな受講生と上級クラス10名の生徒が集まり、開講式を行いました。毎年オルガンスクールでは、オルガン実技だけでなく、オルガンの歴史や仕組み等を学ぶための講座を年2回、生徒対象に行っていましたが、皆様からの要望にお応えして、昨年より一般の方もご参加頂ける公開講座として実施しています。昨年も沢山の方にお越し頂き、質問コーナーも充実の3時間でした。スクール上級講師の松居直美先生による詳しい説明は、初めての方も、もう一度しっかりオルガンの事を知りたいという方も必聴です！



ドン・ベドスによるオルガンの構造の図

という方も必聴です！アークホールにある日本最大級のオルガンを目の前に、前半はオルガンの歴史や基礎構造を、後半は音の出る仕組みや音色の組み合わせのデモンストレーションを交えてたっぷりお届けします。

**6月14日(日) 13時**から、要事前チケット購入の100名限定となりますので、ご興味ある方はお誘い合わせのうえ、是非お越しください！また、次回**7月17日(金)**のお昼どきオルガンコンサートには私、梅干野安未が出演致します。3月14日に行われたリスト公演とはまたひと味違う魅力的なプログラムを考えておりますので、こちらも皆様のご来場を心よりお待ちしております♪

## 🍏パリ オルガンぶらり旅④ 7区、オルセー美術館から5分、オルガニストの聖地🍏

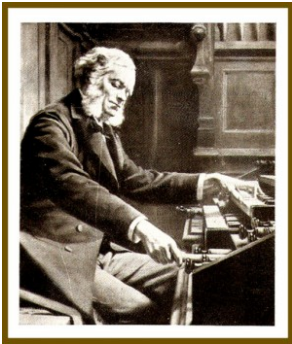
リサイタルやスクール発表会などが続き、しばらくお休みしていた【パリ・オルガンぶらり旅】が久しぶりに復活です。このコーナーでは私が6年間住んでいたパリを中心に、皆様の旅行中などにふらっと立ち寄れる歴史ある教会や一度は聴いて頂きたいオルガンの情報をお届けしております。



今回はセーヌ川左岸7区にある(右図の星印付近)、オルガニストの聖地とも言える**サント・クロチルド教会**

**(Basilique Sainte-Clotilde)**をご紹介します！パリ7区といえば世界的に有名なオルセー美術館があるほか、国民議会やユネスコの本部といった政治・行政を司る機関の多い界限です。セーヌ川に面したオルセー美術館においでの際は是非5分だけ観光コースとは違う方向に足をむけ、この高貴なパリの雰囲気味わってはいかがでしょうか？少し足を伸ばすと、かのロダン美術館や、黄金に輝く丸いドームが特徴でナポレオンのお墓のあるアンヴァリッド(旧・軍病院)も必見です！

## ☆セザール・フランクがオルガニストを務めたサント・クロチルド教会



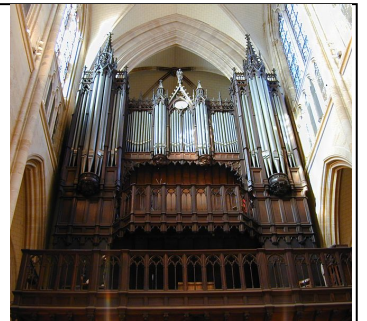
ではなぜ、このサント・クロチルド教会がオルガニストの聖地なのか？それは19世紀を代表する作曲家セザール・フランク(1863-1890)がオルガニストを務めた教会、そしてそこには当時フランクがフランス19世紀のオルガン製作の名匠アリスティド・カヴァイエ＝コルと共に音色を追求した素晴らしい楽器があるから。教会正面の小さな公園には白いフランク像が置かれ、一帯は不思議な静寂に包まれます。1789年フランス革命の際、権力の象徴であったカトリック教会やその中にあったオルガンが次々と破壊され、オルガン音楽暗黒時代の到来、その後19世紀前半はオペラ中心によるフランス音楽の衰退が進みます。

そんな中、音楽を芸術の道へ再び引き戻したのがフランクなのです！派手な誇張の無い、内向的で精神性の高い珠玉の作品を残した音楽史上非常に重要な音楽家です。パリへ行ったらこの教会だけは訪れるオルガニストも多く、まぎれもなく『聖地』といえるのではないのでしょうか。

### ☆オルガン INFO

サント・クロチルド教会は1857年にネオ・ゴシック様式で建造された、比較的パリでも新しい教会です。

守護聖人である聖クロチルドは496年に夫であるフランク王国の初代国王クロヴィスをカトリックへと改宗に導き、フランス国家の起源、キリスト教国家の起源にかかわる決断を促した重要な人物。そんな格調高い教会には竣工2年後にカヴァイエ＝コルによる3段鍵盤46ストップのオルガンが設置されます。その上質な響きと、フランクによるミサ奏楽での即興の腕前が合わさり、その演奏を聴いた弟子や同僚たちによる感嘆の言葉が今でも伝えられています。しかしその宝石の様な楽器は、時代による趣向の変化によって次々と改修が重ねられていくのです！弟子であったC.トゥルヌミールによって1933年には56ストップへ、その弟子のJ.ラングレによって1962年と1983年に61ストップへ、その後2005年には71ストップ（フランクの時代の約2倍！所沢ミューズとほぼ同じ規模）へと拡大改修されていきます。フランクのエスプリを求めて訪れ、「期待はずれだった！」という感想もちらほら聞こえてきますが、私はやはり幾つかの音色にフランクの音楽で垣間みられる詩的な表情を感じます。10月から6月までの第2土曜日（17時～）にはオルガンコンサートが催されているので、実際に味わいに行かれてはいかがですか？



### 🍏3月を振り返って🍏

3月14日に開催された私のリサイタル『音の魔術師 フランツ・リスト』にお越し頂いたみなさま、本当に有り難うございました！予想を大きく超えるお客様にいらして頂

き、「ピアノとオルガンの弾き比べが面白かった」「オルガンの音色が奥深かった」「今までに有るようで無かった意欲的な企画！」など沢山の嬉しいご感想が寄せられました。私自身、ピアニストの岡田将さんと対話を重ねる中で、リストの音楽に対する新たな発見をする事ができました。公演を支えて下さったミューズスタッフの皆様、共演者の岡田将さんとアドバイザーの松居直美さん、そして会場で温かく迎えて下さった皆様に心より御礼申し上げます。来年3月にもリサイタルを行いますので、どうぞ来年もお楽しみに♪



終演後、岡田将さんと

そして、その後の3月29日にはオルガンスクールの発表会が行われ、初級10名、上級4名の生徒の皆さんによる熱演が繰り広げられました！上級の方はミューズでの3年間の成果が存分に発揮された、堂々たる演奏でした。私が一年間指導した初級の生徒の皆さんは毎回熱心にレッスンのために準備をして下さり、発表会の当日横でみなさんの素晴らしい演奏を聴きながら、じわりと胸にこみ上げるものが。。。ちょっと寂しいですが、音楽が繋いでくれる縁を大切に、これからまた新たな10名との出会いを楽しみに、オルガンの奥深い魅力をお伝えしていきたいと思っています！